

## 一つ一つ丁寧な仕事

11月25日から26日にかけて、老人クラブ友の会によるしめ飾り作りが豊栄会館で行われました。

藁を束ね、しめ縄を作るところから始まる作業は、慣れた手つきで黙々と進められ、2日間で150個のしめ飾りを製作。

このしめ飾り作りは、25年程前から続く同会の恒例行事となっており、「地域の人と顔を合わせる貴重な機会」と話す方もおり、談笑しながら作業に励まれています。



## 税の大切さを実感

11月27日に、税と私たちの生活との関係性を学ぶ租税教室が追分小学校の6年生を対象に行われました。

授業は、税がどのような場面で使われているのかを描いた動画をもとに進められ、公園や道路の維持管理、学校建設など教育の場とも密接していることを勉強。授業後には、「税がないと大変だということがかかった」、「将来のためにちゃんと税金を払いたい」と税について感心が高まったように伺えました。



## 地域の安全に期待

11月25日、自主防災組織が設立した青葉町内会に対し、瀧町長から自主防災組織認定書が手渡されました。

今回の設立で9団体となった自主防災組織は、日ごろの防災活動や災害発生時の対応などで活躍が期待されます。

認定書を受け取った西村次郎さんは、「近隣での助け合いから救える命もあるので、日ごろから活動をしていきたい」と地域での防災力の強化について話してくれました。



## (今月の1枚) 地域おこし協力隊 菅原信喜さん

東遠浅地区の肉用牛飼養農家の活性化を目的とした地域おこし協力隊（農業支援員）を募集。11月1日、菅原さんが着任しました。

そこで、農業支援員になった経緯などお話を伺ってみました。

### 6か月間のインド旅

20代前半に6か月ほどインドを旅しました。滞在中は、町中や宿など至る所に牛の姿。この牛と密接した6か月の旅が、今後の人生にとって大きな影響を与えていることに。

インドから帰国後も、牛の印象が強く残り、酪農アルバイトに精を出し、貯めたお金で再び渡航、長期滞在しながら現地の農業に携わることもありました。

### 歩み始めた新たな一歩

最後の旅からの数年間、農業から遠ざかっていました。しかし、昨年東京都で行われた農業イベントに足を運び、農業への熱が再燃。

### 肉牛との日々

農業支援員となって以来、東遠浅地区の肉用牛飼養農家(10戸)を3日おきに回り、様々な飼育方法を学ぶ毎日を送っています。

### 最後に

「将来、安平町で新規就農しよう」という思いで活動に取り組んでいます。精一杯頑張りますので、よろしくお願いたします。

